

2017年11月現在



TOYOTA 6W7

補修塗装工程

クロマックス® センタリ6000/600

ベースコートボカシ塗装

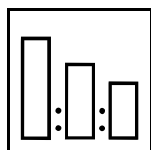
TOYOTA 6W7 製品の使用について



C600の場合



作業中は呼吸器系、皮膚および眼への炎症を避けるため、適切な防護服やマスク、安全メガネ等の保護具を必ずご使用ください。



混合比(容量比) = 6W7カラー : BK220 : JAB/JXBシンナー = 9:1:8
混合比(重量比) = 6W7カラー : BK220 : JAB/JXBシンナー = 100:10:80
ポットライフ(20°C) : 8時間



規制適合(中圧)スプレーガン口径 : 1.2 - 1.4 mm
エア圧 : 1.8-2.0バール(手元圧)
コート数 : カラーベース 2-3 / パールベース 2-3



HVLPスプレーガン口径 : 1.3 - 1.4 mm
エア圧 : 0.7バール(ノズル噴霧圧)
コート数 : カラーベース 2-3 / パールベース 2-3



コート間フラッシュオフ時間 : 艶が消える迄
最終フラッシュ時間 : 艶が消える迄

注意:

遮熱効果を持たせるためにアンダーコートはバリューシェード®システム VS1を使用して下さい。
また、カラーフォーミュラには黒原色を使用しないで下さい。



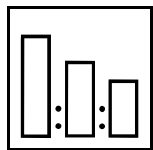
TOYOTA 6W7 製品の使用について



C6000の場合



作業中は呼吸器系、皮膚および眼への炎症を避けるため、適切な防護服やマスク、安全メガネ等の保護具を必ずご使用ください。



混合比(容量比) = 6W7カラー : BK220 : JAB/JXBシンナー = 2.7 : 0.3 : 1
混合比(重量比) = 6W7カラー : BK220 : JAB/JXBシンナー = 100 : 10 : 30
ポットライフ(20°C) : 8時間



規制適合(中圧)スプレーガン口径 : 1.2 - 1.4 mm
エア圧 : 1.8 - 2.0バール(手元圧)
コート数 : カラーベース 2 / パールベース 2-3



HVLPスプレーガン口径 : 1.3 - 1.4 mm
エア圧 : 0.7バール(ノズル噴霧圧)
コート数 : カラーベース 2 / パールベース 2-3



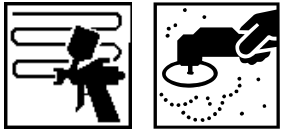
コート間フラッシュオフ時間 : 艶が消える迄
最終フラッシュ時間 : 艶が消える迄

注意:

遮熱効果を持たせるためにアンダーコートはバリューシェード®システム VS1を使用して下さい。
また、カラーフォーミュラには黒原色を使用しないで下さい。

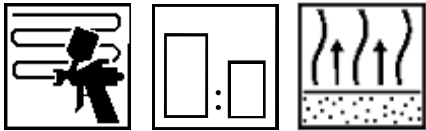
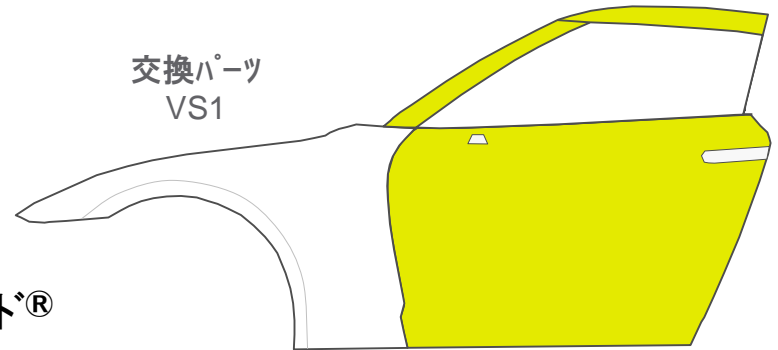


TOYOTA 6W7 補修塗装工程 クロマックス® センタリ6000/600ベースコート塗装



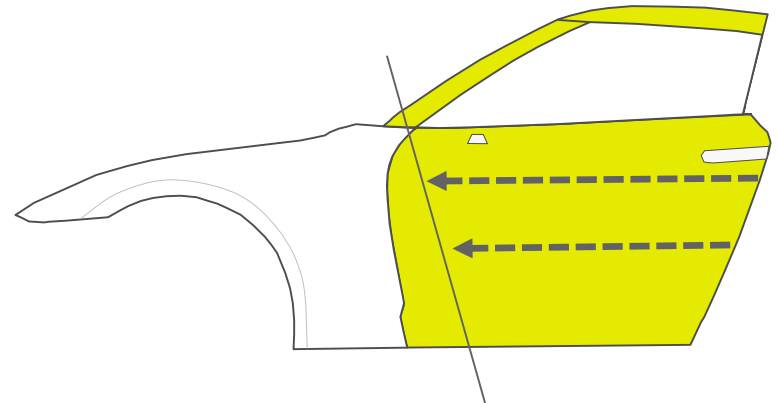
前処理

- 補修箇所、又は交換パーツに2KサフェーサーをTDSに従い塗装し乾燥。
- 遮熱効果を持たせるためにアンダーコートはバリューシート®システム VS1を使用してください。
- 乾燥後、サンディングを行う。(最終P1000-P1200)

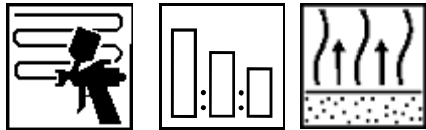


ミットコート塗装

- ミットコートを塗布し完全に艶が引くまでフラッシュさせる。

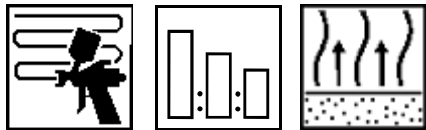
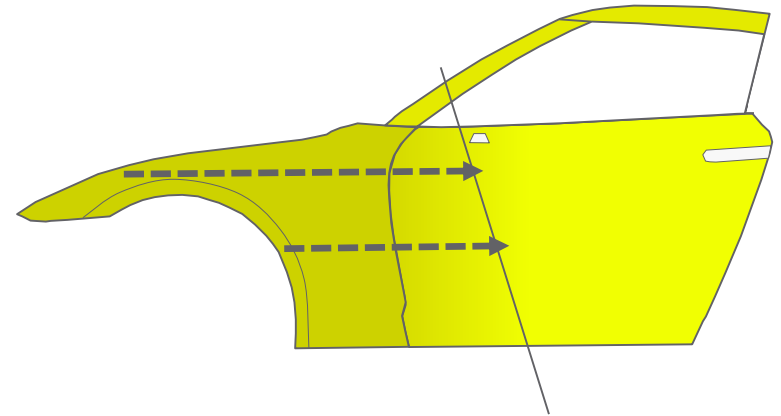


TOYOTA 6W7 補修塗装工程 クロマックス® センタリ6000/600ベースコート塗装



カラーベース塗装

- ミッドコートの内側にBK220配合済みカラーベースを塗布する。各コートは前のコートより広く塗布する。
- コート間は十分にフラッシュさせる



カラーベースホガシ塗装

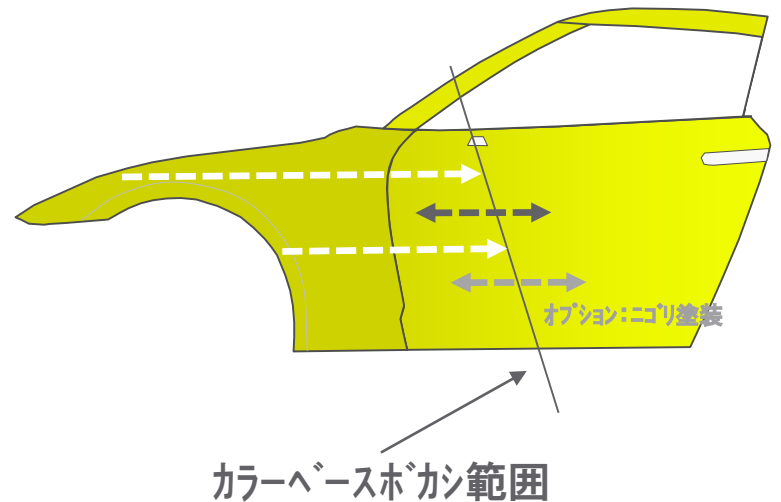
- 必要に応じてミッドコートを混合し隠蔽力を落としたカラーベースでホガシ塗装を行う。

センタリ® 600 希釈済みカラーベース:ミッドコート=1:1

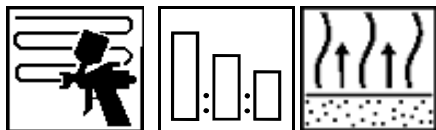
センタリ® 6000 希釈済みカラーベース:ミッドコート=1:2

(オプション)

ノグリ塗装する場合、希釈済みカラーベース:希釈済みパールベース=1:10をカラーベースホガシ部分よりやや広目に薄く塗布する。

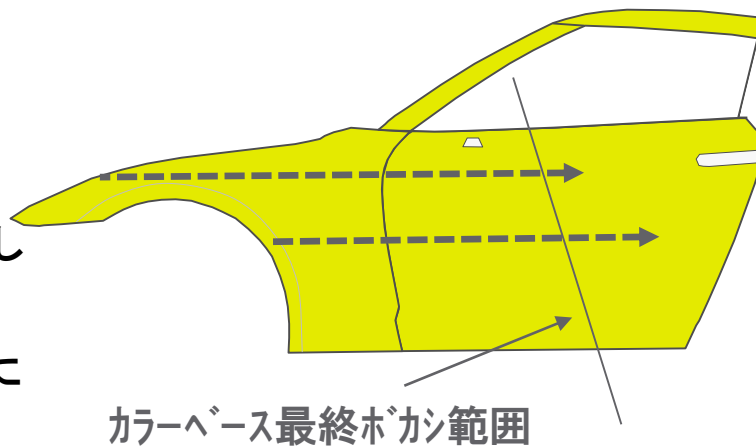


TOYOTA 6W7 補修塗装工程 クロマックス® センタリ6000/600ベースコート塗装



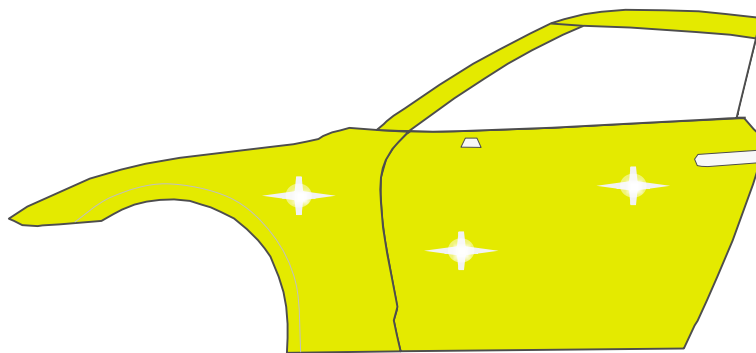
パールベース塗装

- カラーベースを十分にフラッシュさせた後、調色時に確認した回数のBK220配合済みパールベースを塗布する。
- 各コートは前のコートより広く塗布する。コート間は十分にフラッシュさせる。



クリアコート塗装

ベースコートの艶が完全に消えた後、タッククロスでミストを拭き取りパネル全体にクリアコートを塗装



SHINE ON.

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいますようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

CROMAX IS AN AXALTA COATING SYSTEMS BRAND

